

授業科目	作業療法概論	1 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		作業	必修

科目担当責任者	仙石泰仁 (保健医療学研究棟 E508 号) e-mail : sengoku@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	ヒトの生活を様々な学問領域から分析し、理解を深める。そして、生活の中の様々な作業を出来るように援助するための考え方を習得する。また、作業療法の歴史的発展を理解し、作業療法を実践するうえで必要な基礎理論、対象障害、治療技術の概略に関する理解を深める。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヒトの生活を分析的にとらえることができる。 2. 作業活動について作業療法の視点から説明できる。 3. 作業療法の理念、役割、目的を説明できる。 4. 作業療法の歴史的変遷を説明できる。 5. 作業療法の対象障害について説明できる。 6. 作業療法の治療技法に関する理論的枠組みの概略が説明できる。 		
関連科目	リハビリテーション概論、基礎作業学1、基礎作業学2、臨床実習1		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	筆記試験	90%	
	課題レポート	10%	
教科書	①能登真一 編 [最新版] 「作業療法学概論 第4版」医学書院		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	大学生としての学習姿勢を身につけ、主体的な講義への参加が求められる。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	授業ガイダンス、生活分析の方法 リハビリテーションの概念と対象疾患による特徴	事前：教科書の関連項目(ページ1ー20, 131ー138)を確認すること 事後：配付資料の復習	講義	仙石
2	生活の分析ー作業とは何か	事前：教科書の関連項目(ページ21ー51)を確認すること 事後：事後：配付資料の復習	グループ 討議・発表	〃
3	日本の医療制度と作業療法の変遷	事前：日本の医療制度について厚生労働省などのホームページで確認すること 事後：事後：配付資料の復習	講義	〃
4	日本の社会構造と作業療法との関連	事前：教科書の関連項目(ページ63ー72)を確認すること 事後：事後：配付資料の復習	〃	〃
5	障がい者の生活実態を学び自立について考察する	事前：日本の福祉政策にについて厚生労働省などのホームページで確認すること 事後：事後：配付資料の復習	グループ 討議・発表	〃
6	作業療法の学問的基礎	事前：教科書の関連項目(ページ143ー148)を確認すること	講義	〃

		事後：事後：配付資料の復習		
7	作業療法の様々な理論体系	事前：教科書の関連項目(ページ143 -148)を確認すること 事後：事後：配付資料の復習	〃	〃
8	作業療法の臨床活動の実態を学ぶ	事前：教科書の関連項目(ページ149 -208)を確認すること 事後：事後：配付資料の復習	〃	〃
9	身体機能に関する分析	事前：教科書の関連項目(ページ149 -208)を確認すること 事後：事後：配付資料の復習	グループ 討議・発表	〃
10	精神機能に関する分析	事前：教科書の関連項目(ページ149 -208)を確認すること 事後：事後：配付資料の復習	〃	〃
11	生活活動・社会活動に関する分析	事前：教科書の関連項目(ページ149 -208)を確認すること 事後：事後：配付資料の復習	〃	〃
12	分析の実例(主観的・客観的テスト)から、その特徴・実施上の注意点を学ぶ	事前：教科書の関連項目(ページ149 -208)を確認すること 事後：事後：配付資料の復習	〃	〃
13	教養教育・基礎医学と作業療法評価との関連 作業療法における治療的介入とその立案法について知る	事前：教科書の関連項目(ページ209 -222)を確認すること 事後：事後：配付資料の復習	〃	〃
14	作業療法における治療立案演習	事前：教科書の関連項目(ページ209 -222)を確認すること 事後：事後：配付資料の復習	〃	〃
15	講義のまとめ	事前：教科書の関連項目(ページ223 -242)を確認すること 事後：事後：配付資料の復習	講義	〃